

平成30年度事業計画

はじめに（平成30年度事業に向けて）

国の経済動向では、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が続いており、平成30年度経済見通しでは、経済の好環境が更に進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれるとされています。

加えて労働・雇用では、雇用環境の改善が続く中で、女性や高齢者等を中心とした労働参加の拡大など雇用者数は増加するものと見込んでおり、働き方改革の着実な実行、人材投資の強化、労働環境の整備・生産性の向上などのほか女性・高齢者の活躍促進への支援を強化するものとしています。

また、広島県内の平成29年の高齢者の雇用状況では、「定年の廃止」や「定年の引き上げ」あるいは「継続雇用制度の導入」など高齢者雇用確保措置の着実な進展に加え、66歳以上の法定義務を超える常用労働への取り組みも年々増加しています。

一方で、シルバー人材センターの新規入会者の状況では、特に60歳台前半の会員拡大に陰りを生じ、会員の平均年齢は年々上昇するという実態も否めません。就業拡大の反面で会員不足化の実情は、今後の大きな課題となります。

そうした中で、全国シルバー人材センターの「会員100万人」を目指した取り組みでは、平成30年度から平成36年度の7年間の期間とする「第二次会員100万人達成計画」が設定されました。全国の拠点センターでは、この「会員拡大」に向けた取り組みが継続強化されることとなります。

少子化、超高齢社会、労働力人口の減少などの社会情勢の中で、「生涯現役社会」の構築、エイジレスライフの実践など、高齢者の活躍は社会構造上の重要な役割を担うものとなります。

当センターの平成30年度事業計画では、企業やサービス業等の人手不足分野、また介護、育児等の現役世代を支える分野を重点とし、前年に引き続いて就業の拡大、新規会員の獲得に取り組み、会員総員の活躍を推進します。また「第三次中期計画（平成29年度～33年度）」の第2年次として、対前年1%増の事業予算規模を目指した事業展開に努めるものとします。

最後に、平成30年度は、当センターが平成元年の設立（社団法人）から丁度、30年目となる節目の年を迎えることとなります。

心機一転、会員の皆様との総力をもって、生きがづくり、健康増進、地域社会との一体を目指した、新たなスタートの年となります。

1 本年度の基本方針

- (1) 臨時・短期・その他軽易な業務に係る就業機会の提供（公1〔1〕1）
高年齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、地域に密着した仕事を高年齢者の能力、希望等に応じて請負又は委任による形式で就業機会を提供します。
- (2) 職業紹介事業及び派遣事業による就業機会の提供（公1〔1〕2）
臨時・短期・その他軽易な業務の範囲において、高年齢者への職業紹介事業及び労働者派遣事業による就業機会を提供します。
- (3) 就業に必要な知識、技能を付与するための講習（公1〔1〕3）
就業上必要な技能、知識を就業意欲のある高年齢者に付与することで、直接就業に結びつけるとともにより広い就業分野の仕事を確保します。
- (4) 事業推進のための諸活動及び社会参加活動の推進（公1〔1〕4）
上記（(1)～(3)）のシルバー事業を推進するための普及啓発ほか、安全・適正就業の推進、調査研究、就業分野の開拓・拡大、相談・情報提供、その他の社会参加活動の推進を行います。
- (5) 基本目標
本年度は次の数値目標を設定します。
 - ① 会員の拡大 新入会員140人（内、女性割合30%）
 - ② 事業収益 3億9,059万円（請負・委任）
 - ③ 派遣事業
ア 派遣就業延人員4,398人日
イ 派遣契約 2,047万円

2 事業の実施計画

- (1) 臨時・短期・その他軽易な業務に係る就業機会の提供（公1〔1〕1）
 - ① 請負・委任
ア 請負・委任の業務全般については、発注者から求められる仕事の内容を可能な限り会員等に情報提供し、会員等の能力、希望に応じて公平な就業機会の提供とワーキングシェア（仕事を分け合う）を推進します。
イ 福祉・家事援助分野においては、高年齢者家庭を対象に大型ごみの回収など「ワンコインサービス」を引き続き推進します。また、廿日市市の「産前産後等家事援助サービス助成事業」は、平成29年度に引き続いてサービスの提供を行います。
ウ 施設管理部門の廿日市市自転車駐車場は、平成29年度に引き続き第2年次の管理運営を行います。
エ 廿日市市との連携による空き家管理対策事業を新たに計画します。
 - ② 独自事業の継続

ア 子育て支援事業の認可外託児所である「なかよしルーム」は、平成29年度に移転を完了した当センター本所1階部分の一面において運営を継続します。

イ 資源のリサイクル事業では、家庭の廃食用油の回収、不用となった自転車の再生など、資源の再利用に努めます。

ウ 害虫駆除では、増えつつある「スズメバチの巣の駆除」のほか、「アルゼンチンアリの防除」を行います。

(2) 職業紹介事業及び派遣事業による就業機会の提供（公1〔1〕2）

高年齢者の職業紹介事業については有料職業紹介制度を活用します。また、派遣事業については就業開拓と就業延人員の増員に取り組みます。

① 有料職業紹介事業

60歳以上の高年齢者に職業を紹介するに当たっては、この制度の活用を行います。

② 労働者派遣事業の推進

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業補助を活用し、サービス業等の人手不足分野や介護・育児等現役世代を支える分野で、積極的な就業開拓に努め、派遣就業延人員4398人を目標とします。

(3) 就業に必要な知識、技能を付与するための講習（公1〔1〕3）

各種の就業分野において必要とされる技術・技能等、仕事におけるノウハウを習得するため、職群別の講習会を実施します。

① 各種講習会の実施

植木の剪定講習、除草講習、害虫駆除講習、障子・襖の張替え技能講習など就業に必要な講習会の開催ほか、県内及び広域圏で実施される家事援助、子育て支援講習会への参加を推進することで就業会員の知識・能力の向上を図ります。また、女性会員の増強のため、女性の入会を促進する講座、講習会の企画等、事業の展開に取り組みます。

② 高年齢者活躍人材育成事業、技能講習等の連携・推進

就業に必要な知識やノウハウを習得するため、広島県SC連合会との連携により、介護・保育分野、人材不足分野などにおける各種の講座・講習会を実施します。

(4) 事業推進のための諸活動及び社会参加活動の推進（公1〔1〕4）

シルバー事業の広報普及に努めるとともに、会員の増強と就業分野の開拓・拡大を図り、仕事の提供を通じた地域社会への参加とボランティアの奉仕活動参加で、地域の一員としての社会参加を推進します。特に広島県シルバー人材センター連合会との連携により、RCCラジオスポット放送によるセンターのPRに取り組みます。

① 普及啓発

地域住民の信頼と理解を得るため、シルバーの事業活動を普及するとともに会員自身の意識を啓発することでセンターの拡大・発展に努めます。

- ア ホームページへの掲載、ポスター掲示、パンフレット・チラシの配布
- イ 市広報（行政機関）への掲載、市及び関係団体が開催する各種のイベント・行事への参画、参加
- ウ マスメディア（新聞、テレビ、ラジオ等）への活動情報等の提供
 - ・新規 RCCラジオスポットCMの実施
- エ 専門部会等の連携した普及活動の推進
- オ 地域班による会員啓発を通じた「会員、一人ひとりの広告・宣伝塔」の意識促進
- カ ボランティア活動（海のクリーンアップ、シルバーの日等）への参加促進

② 安全、適正就業の推進

ア 安全就業

安全就業を最重要課題とし、事故の未然防止、発生事故の検証と対策、会員への情報の提供など事故の撲滅に取り組みます。

- ・ 安全・適正就業委員会による安全及び適正就業推進会議の強化
- ・ 職群班の安全就業に関する研修・会議等の推進
- ・ 安全パトロールの実施（就業箇所の安全確認、指導等）
- ・ 安全意識高揚のための講習会等の実施
- ・ 事故発生の現状や防止策など情報の提供
- ・ センター車輛の運転者を対象とした安全運転講習等の実施
- ・ 人手不足分野の自動車運転業務（派遣）を対象とし、「高齢運転者等に係るガイドライン」の就業会員周知により、交通事故防止と会員の安全確保を図ります。

イ 適正就業

いわゆる偽装請負の是正推進と、法で制限（禁止業務）される就業の停止など、適正な就業の確保に努めます。

③ 調査研究事業

女性会員の就業拡大、活動の活性化を図るため、女性部会を中心に他の拠点シルバーの事例等を研究するとともに、女性の趣味や特技が活かされる事業の創出に取り組みます。

④ 就業分野の開拓等

企業・事業所・店舗等への訪問活動によりシルバー事業の普及と新たな

な仕事の掘り起しを図るとともに、引き続きサービス業等の人手不足分野、介護、保育等分野における派遣就業の開拓、推進に努めます。

⑤ 地域就業機会創出・拡大事業への取り組み

市や商工団体等の関係機関と連携して地域の活性化や経済の維持・発展につながる新規の就業機会の創造のため、廿日市市ほか関係機関等との情報収集・意見交換に努めます。

⑥ 入会相談、情報提供の拡充

全国シルバー会員100万人を目標とする会員拡大では、平成30年度から平成36年度（7年間）の第二次「会員100万人達成計画」の設定により、平成32年度の中間点で「会員80万人達成」を目指すものことから、新規入会の会員獲得のため、仕事情報の一部開示など入会説明会の工夫、入会相談の随時対応で会員拡大を推進します。また会員による1人1会員入会の活動を推進します。

ア 平成30年度の新入会員140人を目標とします。

イ 女性会員構成比率30%を目指します。

ウ 年間28回以上（支所含む）の入会説明会及び出張説明会の実施

エ 入会相談への随時対応（センター紹介DVDのリニューアル）

オ 会員による友人・知人等への入会勧誘の推進（1人1会員入会）

カ 「会員募集」PR等（各種団体等への情報提供を含む）の発信強化

キ 退会防止策の検討と退会防止の推進（例：ゴールド会員制度の活用）

ク 会員組織（地域班、職群班）活動活性化のための情報提供

ケ 地域班、職群班の班長会議による情報共有の推進

⑦ 社会参加活動の推進

地域社会の一員として、住民とともにボランティア活動を通じた奉仕を行うとともに、行政や福祉・社会活動団体等が開催する各種の行事やイベントへの積極的な参画、参加により、地域との一体感の醸成を図ります。

ア ボランティア活動（シルバーの日の活動を含む）

・JR駅周辺、公園、海岸清掃活動の実施

・老人福祉施設等への慰問

・小学校登下校時の見守り活動

イ 各種イベント・行事への参加

・行政関係機関等が開催するさくら祭りほか各種イベント等への参加

⑧ センターの組織強化の推進

シルバー事業の基本理念の下に、役員等が構成する専門部会等組織の横断的な取り組みと会員組織の地域班、職群班との連携強化に取り組み

ます。

⑨ 「第三次中期計画」に基づく計画の推進

平成30年度事業計画は、「第三次中期計画(平成29年度～33年度)」の方針に基づき、事業予算の規模で対前年比1%の増加を目指し、事業の推進とセンターの運営に取り組むものとします。

⑩ センター設立30年記念事業

当センターは、平成元年に社団法人として設立し、本年30年目の節目を迎えることから、平成30年6月の第46回定期総会においてセンター設立30年の記念式典を開催します。

成 3 0 年度の研修会・講習会の実施及び社会参加活動の計

区分	研修会等名称	実施予定時期	実施場所
理事	安全・適正就業推進員会議 ※県連合主催	平成 30 年 6 月	未定（広島市）
	中国ブロック役員交流研修会 ※県連合主催	平成 30 年 11 月	未定（島根県）
総務 部会	事業運営・推進会議等	会議及び就業拡大活動 (随時)	事務局及び市内活動等
普及啓 発部会	普及啓発活動及び推進会議等	会議及び会員拡大活動 (随時)	事務局及び市内活動等
広報厚 生部会	広報福利厚生及び推進会議等	会議及び事業推進活動 (随時)	事務局及び市内活動等
女性 部会	女性会員活動及び推進会議等	会議及び事業推進活動 (随時)	事務局及び市内活動等
安全 委員会	安全パトロール及び安全会議	会議及び事故防止活動 (随時)	事務局及び市内全域
会員	総会及びセンター設立 30 年 記念式典	平成 30 年 6 月 27 日	文化ホールさくらびあ
	地域班長会議	平成 30 年 4 月～5 月	事務局
	地域班会議	平成 30 年 7 月～12 月	市内各地域班
	職群別班長等会議	随時の開催	事務局
	剪定講習会	平成 30 年 5 月	市内（昭南緑地）
	「松」剪定講習会	平成 30 年 9 月	市内（昭南緑地）
	高齢者活躍育成事業技能講 習 ※連合会主催	未定	市内（未定）
	全会員研修会	平成 30 年 10 月	文化ホールさくらびあ
	刈払い機除草講習会	平成 31 年 3 月	市内（未定）
	安全運転講習会	平成 31 年 2 月	事務局
	「海のクリアアップ作戦」ボラ ンティア清掃	平成 30 年 7 月	市内全域
	「シルバーの日」ボランティア 清掃	平成 30 年 10 月	市内全域
	福祉・家事援助サービス研修会 ※県連合主催	未定	未定（広島市）
	老人施設慰問ボランティア ※原班	平成 30 年 12 月	市内施設
安全講習会（剪定・除草等）	平成 31 年 3 月	未定（各地域）	
職員	安全就業担当者研修会 ※県連合主催	平成 30 年 7 月	未定（広島市）
	事務局長会議（年 3 回） ※県連合主催	平成 30 年 4 月 ～平成 31 年 3 月	未定（広島市）
	中国ブロック実務担当者交流 研修会 ※県連合主催	平成 30 年 9 月	未定（島根県）
	安全運転管理者講習会 ※県安全運転協議会主催	未定	県安全運転管理協議会
事務局	入会説明会	毎月（月 1 回～2 回）	事務局及び支所
	相談・情報提供	随時	事務局及び支所

